

令和4年6月2日(木)～令和4年7月7日(木) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

今日、データサイエンスという言葉を目にする機会が多くなりました。ところで、科学的データとは具体的には何を指しているのでしょうか。例えば一方では、各種ビッグデータに基づく数理統計的な分析の成果を活用する動きがみられます。他方、これに加えて、インタビュー調査や面接・観察調査などの質的データ分析に対する関心も高まっています。研究者の間では、こうした多様なデータに対する科学的な分析が日々営まれています。そこで、本講座の受講生の皆さんには、社会学、心理学、教育学、経済学の諸分野において質的・量的データを扱った調査研究の成果をうかがいつつ、そこで調査データがどのように利用されているのかを総合的に学んでいただきたいと思います。データの科学的な取り扱いに関心のある方のご参加を歓迎いたします。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	一般
◆実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第3学習室
◆受講料	6,300円
◆その他	
◆申込期限	令和4年5月19日(木)

◆講座内容

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	6月2日(木)	18:30~20:00	質的社会調査とデータ	伊藤 智樹	人文学部・教授
2	6月9日(木)		子どもの安全を守る方策を探るーデータが教えてくれることー	西館 有沙	教育学部(旧:人間発達科学部)・准教授
3	6月16日(木)		心理学におけるデータ解析① 言葉を用いた質的研究	小林 真	教育学部(旧:人間発達科学部)・教授
4	6月23日(木)		心理学におけるデータ解析② 統計解析による量的研究	小林 真	教育学部(旧:人間発達科学部)・教授
5	6月30日(木)		データとしての教育の言葉:学校日誌を読む	仲嶺 政光	地域連携推進機構・准教授
6	7月7日(木)		経済研究におけるデータの扱い方	唐渡 広志	経済学部・教授

〈備考〉

・県民カレッジ単位…5単位

★講座のキーワード★

データサイエンス, 質的・量的データ, 人文社会科学の研究領域を横断する内容